

Frontier

未来戦略デッサンによる成長戦略革新

Frontierとは、企業や事業の将来変革デッサンを起点に戦略再構築や成長戦略の構築をはかるための手法体系です。Frontierは、一般的な事業戦略立案法として実施されている「環境予測法」「トレンド法」等の限界と問題点を突破するために考案されました。



ケーススタディ 金属材料A社

A社は1990年代の新規事業分野進出に成功し、現在のビジネスは順調に推移している。現在の好調を維持しつつ、さらに大きな成長を目指して2015年中期方針が策定された。

B取締役兼CTOは、この中期方針を実現するための将来事業戦略と技術戦略を明確にするためにCTOチームを編成。FMICのFrontierプログラムを軸に4ヶ月に渡るワークショップを開催した。

役員、将来の事業責任者候補、コンサルタントが一体となり、8分野において事業の将来デッサンと革新構想図を立案。うち2つが経営会議で承認され、次世代プロジェクトが開始された。

